

自然に学ぶ21世紀の環境調和型技術

日時 平成19年
12月11日(火) 13:00~19:00 (受付: 12:30~)

場所 **メルパルク仙台2階「松島」**
仙台市宮城野区榴岡五丁目6-51
TEL 022-792-8111

参加費 **無 料**
(※交流会会費5,000円)

定員 **200名**
(申込み先着順)

プログラム

13:00~13:10 開会挨拶

13:10~16:00 第1部 講演会

◆ 基調講演 I (13:10~13:40)

「地球環境問題とネイチャーテクノロジー」

◆ 基調講演 II (13:40~14:10)

「地域連携を考える
—グリーンプロセスルネッサンス(水・空気・オルガノマス)基本構想—

◆ 特別講演 I (14:20~15:10)

「インセクトテクノロジー
—懐かしい未来を紡ぐ—

◆ 特別講演 II (15:10~16:00)

「低環境負荷プロセスへの取り組み
—環境に優しい酒造りを目指して—

16:00~17:00 第2部 ポスターセッション
—東北地域への展開に向けて—

- 産総研/ルネッサンス研究シーズ
- 東北大学/ネイチャーテクノロジー分野、低環境プロセス分野
- 公設研(東北6県)/環境・資源・エネルギー分野
- 東北地域企業等各社・団体

17:15~19:00 第3部 交流会 5階「宮城野」〔会費:5,000円〕

主催

独立行政法人産業技術総合研究所東北センター
グリーンプロセスインキュベーションコンソーシアム(GIC)
循環型社会対応産業クラスター委員会
国立大学法人東北大学大学院環境科学研究科

共催

経済産業省東北経済産業局/産業技術連絡推進会議東北地方部会/
独立行政法人中小企業基盤整備機構東北支部/社団法人東北経済連合会/
社団法人東北ニュービジネス協議会/社団法人みやぎ工業会/
財団法人みやぎ産業振興機構/NPO法人環境会議所東北

申込先・問合せ先

独立行政法人 産業技術総合研究所東北センター
東北産学官連携センター

TEL 022-237-5218 FAX 022-231-1263

E-mail: symposium-19@m.aist.go.jp URL: http://unit.aist.go.jp/tohoku/

循環型社会対応産業クラスター委員会
委員長/ 谷口 尚司 氏
(東北大学大学院環境科学研究科長)

東北大学大学院環境科学研究科
教授/ 石田 秀輝 氏

産総研コンパクト化学プロセス研究センター
研究センター長/ 水上 富士夫 氏

東京農業大学農学部農学科
准教授/ 長島 孝行 氏

株式会社一ノ蔵
代表取締役名誉会長/ 浅見 紀夫 氏



ごあいさつ

東北大学大学院環境科学研究科を中心とした「ネイチャーテクノロジー」と産業技術総合研究所(産総研)コンパクト化学プロセス研究センターが提唱する「グリーンプロセスルネッサンス」は、いずれも新しい低環境負荷型プロセスの開発を目指した研究シーズであります。これらの研究シーズと、東北地域の産業や資源と総合的な融合を図ることで、地域産業に根ざした新たな低環境負荷型技術の開発が期待されます。

本連携シンポジウムは、このような観点から「自然に学ぶ21世紀の環境調和型技術」と題して、21世紀における喫緊の課題である持続的発展可能な循環型社会基盤の構築に向けて、最近の研究開発の動向を紹介するとともに、産業界や試験研究機関との交流により新規産業技術のニーズ・シーズを把握し、新たな産学官連携のプラットフォームの創出を目的として開催します。

皆さまの多数の参加をお待ちしております。

ポスターセッション

◆産総研コンパクト化学プロセス研究センター

- ・マイクロミキサーを用いた超臨界水熱合成法の開発 川崎、閻、鈴木
- ・高温高压水によるニトロ化プロセスの開発 畑田、若嶋、川崎、鈴木
- ・温度、流れ、湿度に関する計算器シミュレーション 増田
- ・マイクロ垂臨界水を用いた環境調和型高効率O-アシル化 佐藤、川波、松嶋、横山、生島
- ・水によるリグニンからの燃料ガス回収 白井、山口
- ・高効率マイクロ波利用化学反応装置の開発とVOC分解への応用 西岡、葛西、濱川、佐藤、井上、水上
- ・ゼオライト膜を用いたプロセス強化研究 井上、長瀬、長谷川、清住、濱川、水上、*根本、西出(日大)
- ・種々のゼオライト膜の合成とその分離性能 清住、長谷川、長瀬、*根本、平野、西出(日大)
- ・粘土鉱物を用いた徐放性材料の研究 石井、蛭名、水上
- ・無機多孔体を用いたタンパク質の機能制御 角田、伊藤、松浦、富樫、奈良、関川、塩見、久松
- ・種々の粘土を用いた膜の作製 ナム
- ・ナノ粒子技術を用いた微量物質検出膜 高橋
- ・特異場制御計測に関する研究 南條、相澤、金久保、石川、相田
- ・電気化学的金属表面処理の研究 南條、Bayoumi、石川

◆東北大学大学院環境科学研究科

- ・硫黄循環を利用した硫化水素からの水素製造 高橋
- ・カーボンナノチューブは生体材料として利用できるか?—毒性試験と細胞増殖 佐藤
- ・地球に優しい汚染修復技術 須藤、畑山、井上
- ・ネイチャー・テクノロジーによるものづくり 石田、前田
- ・水熱制御法により作製したゼオライト固化体の快適空間創造 前田、石田
- ・セラミックス生体材料の水熱法による低環境負荷合成 上高原、渡邊、井奥
- ・超臨界水を用いた重質油の低環境負荷アップグレーディングプロセス 渡邊、竹内、木下、井奥
- ・ポリマーポーラスマテリアルによる身近な環境対策 細谷、久保、彼谷
- ・廃棄PETからのベンゼン生成ケミカルリサイクル技術 亀田、吉岡
- ・層状酸化物を用いる水浄化プロセスの開発 亀田、吉岡

◆他、東北6県公設試験研究機関、東北地域等企業・団体

※テーマ名等が変更になる場合があります。

参加申込書

産総研東北センター 東北産学官連携センター 宛 申込FAX番号 (022) 231-1263
ネイチャーテクノロジー & グリーンプロセスルネッサンス “連携シンポジウム” 参加申込書
 (必要事項を記入のうえ、11月30日(金)までにご送付いただきますようお願い申し上げます。)

所属(会社名)				
住所・連絡先	〒		TEL :	
	(e-mail)		FAX :	
氏名	役職	講演会	ポスターセッション	交流会
氏名	役職	講演会	ポスターセッション	交流会
氏名	役職	講演会	ポスターセッション	交流会

講演会・ポスターセッション・交流会の欄にそれぞれ参加する場合は○をつけてお申込み下さい。
 講演会の参加は無料です。定員を超え、お断りする方にはご連絡いたします。参加証は発行いたしません。
 交流会会費は5,000円となります。当日のキャンセルはお受けできませんので、ご了承下さい。
 メールで申し込まれ方は、上記内容を記載のうえ、symposium-19@ma.aist.go.jp (産総研東北センター) までご送信ください。
 当日は、記録写真を撮影しています。撮影した情報はイベントの報告等を目的として印刷物・HPで公開することがあります。

【個人情報の取り扱いについて】

お申し込みの際に連絡いただきます個人情報は、本連携シンポジウムの運営についてのみ利用させていただきます。